

つばきの郷だより

24年11月

11月に入り、朝晩はすっかり肌寒くなってきました。

つばきの郷の周辺の山々も色づき始め、本格的な秋の深まりを感じます。

日が暮れるのも早くなりましたので、早めのライト点灯で安全運転を心掛けていきましょう。

それでは、10月のつばきの郷の様子をご紹介します。

～芋掘り～ 施設の敷地内に植えたサツマイモが収穫の時期をむかえ、皆で芋掘りを行いました。土の中から現れた大きなイモを手に取り満面の笑顔を見せる方や「昔を思い出すね」と熱心に手を動かす方もありました。



大豊作!

～おたのしみ会～ 10月はお誕生月の方がいられないため、誕生会の代わりにおたのしみ会を催しました。ハーモニカの鈴木様をお迎えして、皆で一緒に民謡や歌謡曲などの歌を歌い、楽しいひとときを過ごしました。



～椿沢町 秋の祭典～ つばきの郷のある椿沢町で地域のお祭りが開かれ、つばきの郷にもかわいい子供みこしが来てくれました。元気いっぱいの子供たちの姿に、皆様は目を細められていました。その後公民館にて地域の方との交流を楽しめました。



～職員研修～ 新潟県介護福祉士会副会長の大家様をお招きして、認知症についての研修会を行いました。大家様には実例に基づいた講義をしていただき、その後職員同士でディスカッションを行い認知症についての理解を深めました。今回学んだことを今後の業務に生かしてゆく所存です。



11月に入り、インフルエンザの流行シーズンが始まります。つばきの郷では例年のように入居者様・職員ともにインフルエンザの予防接種を行います。またノロウイルスなどの感染症対策として、10月から施設内の清掃や消毒の方法を一部見直しをして運営しております。

